

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	脳動静脈奇形に対するサイバーナイフ寡分割照射の治療成績
研究責任者	伊地俊介
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	脳動静脈奇形(AVM)の中でも、サイズの大きなAVMや、機能領域のAVMは外科的治療のリスクが高い一方で、経過観察では2-4%/年で出血を来すと言われている。このような大型AVMに対する最適な治療方法は確立されておらず、中でもサイバーナイフの寡分割照射治療成績の報告は存在しない。本研究の目的は、サイズの大きなAVMや神経機能領域のAVMに対するサイバーナイフの寡分割照射の治療成績を明らかにし、その治療の有効性の有無について検証することである。
研究方法	<p>2010年8月から2015年7月の間に、当施設において大型AVMに対してサイバーナイフ寡分割照射を受けた症例を対象とする。患者情報は後方視的なカルテレビューにより収集する。CT、MRI、angiographyの画像を後方視的に分析する。サイバーナイフ治療情報を、治療時に用いた治療計画書から後方視的に収集する。</p> <p>以上の収集データから、治療から3年後、および5年後のAVM閉塞率と出血率を算出し、出血や閉塞に寄与した因子を統計解析ソフト(SPSS)を用いて解析する。</p> <p>【研究の方法】 対象は2010年8月から2015年7月の間に当院で大型AVMに対するサイバーナイフ治療を行った方です。</p> <p>【個人情報の保護】 研究は個人情報の保護に十分配慮したうえで行います。個人が特定されないよう匿名化を行うことで、誰のデータかわからないようにし、統計解析を行います。</p> <p>【研究結果の公表】 研究の成果は学会や論文に公表されます。</p>
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター脳神経外科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：伊地 俊介 TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604